

## 最近の高校って、どんな様子なの？

### 「主体的な学び」で授業が変わる！

#### ●知識を覚えるだけではなく、自分で考える学びへ

全ての県立高校では、積極的に自ら学び、自ら考える力が身に付くような授業に取り組んでいます。課題の解決に向けて、生徒が自分の考えを深めたり、生徒同士と一緒に考えたりするなど、授業の工夫をしています。

#### ●課題研究で学ぶ楽しさを知る

生徒が自分の興味や関心のあることを課題として設定し、実験や分析、発表までを自ら行う、課題研究活動をしている高校もあります。

生徒や保護者からは、「課題研究活動が高校卒業後の進路選択などにも良い影響を与えている」という声もあります。



課題について話し合うグループ（高崎女子高校）



課題研究を発表する生徒たち（尾瀬高校）

### 高度な知識と技能が学べる専門教育

農業、工業、商業、福祉といった専門学科のある県立高校では、専門的な知識や技術を身に付けるための授業や活動が行われています。高度な技術を持った講師から直接指導を受ける機会もあり、就職や進学に役立つ専門的な資格の取得に多くの生徒が挑戦しています。



機械検査技能士を目指した技術指導（太田工業高校）

### SPH（スーパー・プロフェSSIONAL・ハイスクール）事業（勢多農林高校）

平成28年度から3年間指定を受けた勢多農林高校では、グローバル化に対応できる次世代の農業人材を育成することに取り組んでいます。大学や企業、地域との連携など、「勢多ブランド」の確立に向けての取り組みに注目が集まっています。



無菌室で行う植物の培養作業

SPH事業とは、専門高校において社会で活躍できる専門的職業人を育成することを目的に文部科学省が指定するものです。

### 統合に向けて準備が進んでいます

地区別の再編整備計画に基づき、平成30年度には、富岡・甘楽地区と、吾妻地区にそれぞれ統合による新高校が誕生します。

また、桐生・みどり地区についても平成33年度に統合による新高校を設置する計画が進んでいます。

#### 富岡・甘楽地区（富岡高校と富岡東高校の統合）



体育大会での交流の様子

両地区では、新高校の統合に向けて、生徒同士の交流なども進んでいます。お互いの高校の良いところを引き継ぎ、地域を代表する新しい高校となるよう、生徒たちが自ら取り組んでいます。

#### 吾妻地区（中之条高校と吾妻高校の統合）



高校総体での健闘を誓い合う両校生徒